

株式会社 ちくしの農園

アジアの人が集うストロベリーフィールズ



香港からの家族連れ



農園全景



H29年オープンのカキ店

取組概要

- イチゴの観光農園を運営。海外旅行者向けイチゴのお土産持ち帰り促進のための事業を活用したモデル販売、海外の団体の視察・研修受入れ、日本の魅力ある観光スポットを紹介する海外のTV番組出演、英語表記案内看板やパンフレット制作等の取組で海外からのお客様が大幅に増加。
- 6次産業総合化事業計画の認定を受け、農園で生産しているイチゴを主に用いたケーキ店をH29年に開店。焼き菓子やイチゴジャムなど土産品も販売。

活動成果

- 海外の人の姿を見ることがなかった地域に多くの外国人観光客(H29年度実績約3,500人)を呼ぶことが出来るようになり地域の経済活性化に大いに寄与。
- 人の雇用が図れるとともに地域の様々な行事(子供会活動・中学生の職場体験など)に貢献。
- 農業を目指す若者の研修の場としても貢献しており、2名の若者が当園で研修後独立し、イチゴの生産に励んでいる。

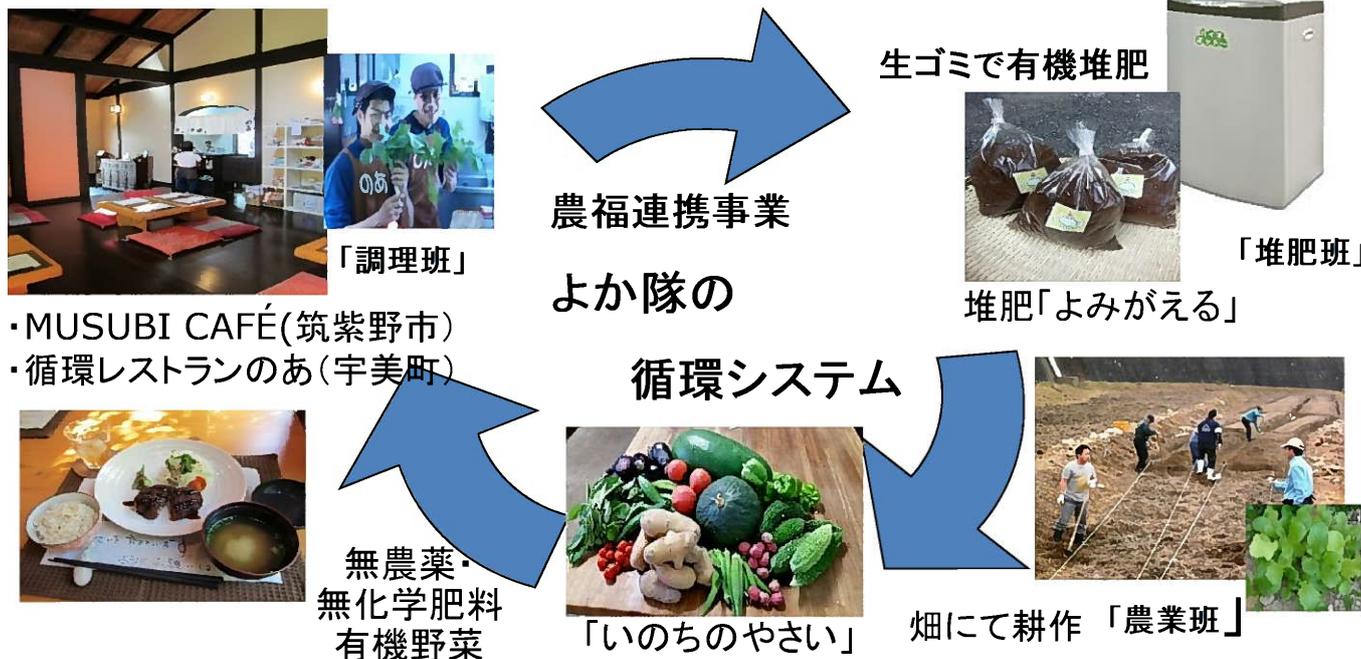
株式会社ちくしの農園

福岡県筑紫野市筑紫1278

Tel : 092-400-3239 Fax : 092-403-3655

特定非営利活動法人よか隊

農業・環境・福祉を繋いだ生命循環システム



取組概要

- H23年より、障害者就労支援A型事業に着手。年々増加する休耕地に着目して障害者とともに環境保全型農業を推進し、生産した野菜を食として提供の他、オーガニック野菜として他店舗へ卸している。
- 「農業班」が休耕地2ヶ所約9,400㎡を活用し、無農薬・無化学肥料で野菜を栽培。堆肥は、「堆肥班」が生ごみを原料に使った自家堆肥を使用。
- 当法人が運営する2店舗の飲食店にて農業班が作った野菜を用いて「調理班」が料理を提供。

活動成果

- 障害者26名は堆肥班3名、農業班11名、調理班12名に分かれ、作業を分担し、それぞれが、循環型社会を目指して活動している。
- 農業を希望する障害者は毎年増加。農業を通じて自然に調和した生活をする事で、精神障害の方には減薬の効果があるなど、身体への効果が現れている。
- 飲食店での障害者の丁寧な対応にお客様が癒されて、心がほろっとされてリピーターになられる方が多い。

特定非営利活動法人 よか隊

福岡県筑紫野市紫6丁目11番5号

Tel : 092-925-3336 Fax : 092-933-1791

ごいのき 伍位軒集落協定

集落みんなで守る！中山間地域とみかんの里



伍位軒集落の園地の風景



高品質ミカンの栽培(シートマルチ栽培)

Uターンによる後継者の増加

取組概要

- パワーショベルの共同利用による園地整備、中山間直接支払交付金を活用した園内道等の整備を自主施工。SSや軽トラックなどの園内への乗入れが可能となり、栽培・管理作業が省力化。
- 本集落で発見された優良品種「北原早生」を生産拡大。「シートマルチ栽培」による高品質ミカンの生産を推進。

活動成果

- 農作業の省力化が進み、経営規模が拡大。「北原早生」導入等による高品質ミカンの生産により、高値で取引され、山川みかん全体の販売額も増加。
- ミカン農家の経営基盤が強化され、農家所得が向上。H22年以降、集落に4名がUターン就農。子供の数も増え、集落全体が活性化。

佐賀県 佐賀市

農山漁村体験

ジビエ

6次産業化

にしやまだ 有限会社 西山田農園

地域資源を活用！農業のテーマパークづくり



取組概要

- 代表は建設会社を営む。耕作放棄地の整備を依頼されたのがきっかけで、農業を始めることとなり、H17年に地元の町おこしグループの仲間と当社を設立。
- 以来、再生農地を拡大。ブルーベリー、そば等を延べ290a栽培。果物や野菜の収穫体験やそば打ち等の体験を受入。漬物等の加工品の開発・販売も実施。
- 「イノシシ加工施設」を建設し、佐賀の山間地で獲れたイノシシの加工品を開発・販売。

活動成果

- これらの取組みを通じて若手農業者グループや、農業での起業を目指す人達とのつながりや連携が生まれた。
- 地域の行事に積極的に協力することによって、地域住民の地元資源の再発見や地域への愛着の醸成にも貢献。
- 観光農園事業の取組みは、マスコミ取材を度々受け、地域の魅力発信に貢献。観光農園や各種体験のH29年度の受入数は3,800人。うち140人は訪日外国人であり、近年、外国人利用者も増えた。

有限会社 西山田農園

佐賀県佐賀市大和町川上1955-1

Tel : 0952-62-1226 Fax : 0952-62-1226

すみやま棚田を守る会

地元企業との連携で棚田が元気に！



棚田保全活動で田植え体験



取組概要

- 棚田の整備が完了したH14年、地元企業や学校との連携による地域活性化を目的に炭山地域の農業者により設立。
- 以降、棚田に彼岸花等を植栽する景観形成、地元小学生対象の田植え等の農業体験、そば打ち体験や地元料理の提供等による都市農村交流、ケーブルテレビや地元印刷会社(QRコードによる動画配信)と連携した情報発信を推進。
- 地元酒蔵と連携した棚田米を用いた「純米酒すみやま」を製造、販売。

活動成果

- 棚田を整備し、市や地元企業と連携しイベントを開催したことで、横のつながりが広がり、町全体に活気がでてきた。小学生との交流授業により、子どもたちの心の教育の一助に。
- ケーブルテレビ等での情報発信に努めたことで視察団やイベントの参加者が増え、地域活性化につながった。
- 「純米酒すみやま」は仏で行われた日本酒品評会で金賞受賞。棚田米生産農家、地元酒蔵等の売上・生産量が増加。

すみやま棚田を守る会

佐賀県伊万里市二里町中里甲2223

Tel・Fax: 0955-23-3776

山田のひまわり園

秋に咲くひまわりで農村を元気に！



炎ケイトウとひまわりのコントラストが美しい



ひまわり園の脇ではハゼの紅葉が秋を演出



会場では農産物の直売も

取組概要

- H12年に18人のグループで「中山間地山田集落組合」を組織。同組合がH13年に20aの棚田に、珍しい風景を目指して2万本の「秋に咲くひまわり」を作付け。
- その後、「山田のひまわり園」として、町の新観光名所となるよう、毎年10月下旬から11月下旬まで60aに10万本のひまわりを栽培して一般公開。
- 「ひまわり園」開園中は来訪者に棚田米など農産物を販売するほか、町商工会が饅頭や弁当、ぼたん汁を販売。

活動成果

- 秋に咲くひまわりと紅葉とのコントラストを楽しみに年々都市部からの観光客が増加。H29年は2万人以上が来訪。
- 組合員の8割は75歳以上ではあるが、農産物やブローチ、キーホルダーなど手作りの小物販売などで意欲が出、都市住民との会話を楽しむなど、地域全体に活気が戻ってきた。
- 労働力不足を補うため、県の棚田ボランティア事業を活用し、H30年は企業2社からボランティアを受入れ。企業との交流で事業の継続性を確保したい。

山田のひまわり園

佐賀県三養基郡みやき町蓑原4903

Tel : 0942-94-2179 Fax : 0942-94-2179

株式会社 トトノウ

農家と移住者で農業の新しい形を創る！



発起人(11人)と従業員1名 設立時



オンラインショップ
<http://totonou-shimabara.com>



メインの野菜セットの一例

取組概要

- 代表はH28年1月に地域おこし協力隊として農業の新しい形を創るために移住。11人の島原半島の若手農家の出資のもと同年9月に株式会社設立。
- 年間取扱品目が年間約300種類以上という強みを活かした「野菜セット」を中心としたネット販売をH29年より開始。
- 東京の貿易会社と業務提携を行い、首都圏での販路の拡大を推進。生鮮品の輸出も視野に海外の健康食品と「しまばら野菜」をテーマにモールを準備中。

活動成果

- ネット販売は当初30人ほどであったユーザー数が現在約220人まで増加。また、販売用の農産物の生産協力農家件数は15件から32件に増加。
- 若手農業者が、会社組織の一員という意識、また自らの農作物への責任を自覚することにより、意欲が向上。この2年間で2戸の農家が法人化。
- 地域内メディアやイベントに多数のせることで、この取組への理解が地域内で深まっていることを実感。

株式会社トトノウ

長崎県島原市本町乙487-1

Tel : 0957-73-9423

Fax : 0957-73-9424

くまもと☆農家ハンター

地域と畑は自分達で守る！若手農家の猪対策

産学官 連携モデルに！



活動への理解と応援

応援団

農水省	環境省	県、市町村	大学、研究	協力企業
鳥獣被害防止の推進、山形県等の成功事例の紹介、地域での鳥獣被害対策の推進等	鳥獣被害対策の推進、野生動物の保護、環境省との連携、鳥獣被害防止の推進等	鳥獣被害防止の推進、鳥獣被害対策の推進、地域での鳥獣被害対策の推進等	地域に特化した研究、鳥獣被害防止の推進、鳥獣被害対策の推進、アンケート調査等	IoT技術やドローン活用、鳥獣被害防止の推進、鳥獣被害対策の推進、鳥獣被害防止の推進等

若手農家が主体の鳥獣対策の全国モデルに挑戦中

メンバー同士で積極的に情報共有

成功&失敗を農家同士で共有 モチベーションUP



獣害対策を通じた地域のリーダー作りが目的



捕獲獣はジビエ、ペットフード、堆肥に活用

取組概要

- 「地域を災害から守る消防団のように鳥獣害から地域と畑を守る」を合言葉に熊本県内の若手専業農家によりH28年に設立。現在の会員92名。
- メンバーとの情報共有等を目的とした「農家ハンターミーティング&サミット」の開催、クラウドファンディング活用による箱罠50基、IoTカメラ10基等の購入、高校、大学での出張講義、高校家庭科の調理食材としてイノシシ肉の提供等を実施。

活動成果

- 品目、地域、規模を超えて獣害対策に取り組む有志の仲間が県内各地にでき、農業経営や栽培技術等を共有。
- 農家ハンターの活動に刺激を受け、宇城市三角町で区長中心の対策チームが結成され、同地区での猪の捕獲実績は259→690頭に倍増。
- 行政や企業その他、JAも参加する講習会の開催により、より多くの地域農業者に取組みが波及。

くまもと☆農家ハンター(宮川洋蘭)
熊本県宇城市三角町戸馳島397

Tel : 0964-53-0752 Fax : 0964-52-4246

かみあまくさ

上天草物産館さんぱーる出荷協議会

地域の宝(食材)で元気と笑顔を!!



H28.4/22 支援物資配布の様子



湯島大根

一般的な大きめの青首大根

産地維持が困難化していた湯島大根

湯島農産物部会集合写真

取組概要

- 旧大矢野町の施設「大矢野物産館さんぱーる」のH12年のオープンと同時に当出荷協議会を設立。
- 地元産の出荷体制を構築するため、生產品目ごとに部会を設け、部会毎で販売数量実績等を共有化。
- 熊本地震の被災地南阿蘇村に、会員有志が支援物資を運搬・配布。同村の直売所と連携し、仮設住宅団地での農水産物の移動販売を開催。

活動成果

- 現在、直売所では地元の農水産物の出荷割合が85.4%を占め(全国平均68.9%、九州平均68.2%)、地元産の出荷・販売体制を構築。
- 被災地での移動販売の継続的实施で、被災者の「痛みの最小化」と「創造的復興」に寄与。
- 特産「湯島大根」の生産者の組織化により生産量が安定し、直売所では、午前中に完売する特産品となった。

道の駅上天草さんぱーる

熊本県上天草市大矢野町中11582-24 Tel: 0964-58-5600 Fax: 0964-58-5602

株式会社 熊本玄米研究所

農村に黄金の実りを！米の消費拡大を応援



大津町の自社店舗「玄氣堂」店内と玄米ペースト



グルテンフリーの玄米
パスタ、玄米パン

取組概要

- 栄養豊富な玄米を加工食品の原料とするため、製粉が難しい玄米を含水状態にしてペースト化する技術をH25年に開発。
- H26年より新規需要米を農家から集荷し、玄米ペーストパンを製造販売。H28年に工場を開設。新たに冷凍玄米ペーストとペーストを主原料とした玄米パスタを開発・発売。
- H29年は小麦アレルギーの方も食べられるグルテンフリー玄米パンの製造販売を開始。

活動成果

- 5年間で約300t(のべ作付面積約70ha)の米粉用米を集荷。主食用米が適さなかった地域でも作りやすいと好評。
- 自社店舗「玄氣堂」の売上は年間6千万円。購入客の大半は健康への関心が高い40～60歳の女性で県外のお客様も多い。
- 店舗以外に地元百貨店やスーパー等にも販売、H30年には熊本の繁華街に店舗を新設するなど販路を拡大。

ゆやま
湯山温泉旅館組合

ジビエがアスリートを強くする！



高地トレーニング施設「水上スカイブリッジ」



ジビエ調理講習会



鹿肉、猪肉、地元農産物の夕食メニュー

取組概要

- H29年村開設の高地トレーニング施設の運用に併せ、組合加盟の全宿泊施設でアスリート達にジビエ料理を提供。
- メニュー開発はスポーツ栄養士が基本となるレシピを監修。各旅館でアレンジし、発表会を開催。競技関係者等の評価を受け改良。
- ジビエと併せ、使用食材を地元物産館から調達。組合員が鹿肉の処理・加工施設を新設。精肉を各旅館に卸すほか、ソーセージ等の加工品を開発。

活動成果

- 低カロリー、高タンパクのジビエ料理は、アスリートや監督達のほか、一般客からも好評で、お取り寄せの要望も多い。
- 高地トレーニング施設のオープン後の合宿目的の宿泊実績は2,500人泊を超え、昨年の宿泊観光客数の3割以上。
- 施設と食事、サービスの良さから、来シーズンの合宿を予約する団体もあり、旅館側の設備投資も進むなど、地元大きな経済波及効果。

湯山温泉旅館組合

熊本県球磨郡水上村江代1286

Tel : 0966-46-1105

Fax : 0966-46-1106

大分県 宇佐市

6次産業化

企業等との連携

その他(農家による地域おこし)

株式会社 ドリームファーマーズ JAPAN

4H活動が生んだ6次産業と地域おこし物語



ドリームファーマーズJAPAN 商品

ブドウ加工の様子

大分大学との連携「農村ベース大学」

取組概要

- 4Hクラブの有志5名でH21年に干しブドウの試作販売に着手。ドライフルーツの製造・販売事業を具現化するためH24年に当法人を設立。
- 規格外ブドウの干しブドウを中心にミカン・トマト・梨・梅・イチゴ等地域の農産物をドライフルーツに加工・販売。
- H26年に耕作放棄地を取得し、ブドウを植栽。H29年に大学と連携し、情報発信基地「農村ベース」を設置。

活動成果

- 規格外ブドウなどをドライ加工することで価値が生まれ、H29年は2,600万円を売上げ。年間を通した「安心院ブドウ」の販売が可能となり、ブドウ産地「安心院」のPRに貢献。
- ドライフルーツ事業を通じて生産者のネットワークが構築、連携が強化。
- 「農村ベース」における食育活動等のイベントは、新たな学び・交流の場として地域の活力になっている。

株式会社ドリームファーマーズJAPAN
大分県宇佐市安心院町下毛1193-1

Tel : 0978-58-3534 Fax : 0978-58-3534

大分県 宇佐市

食育・教育

「食」の提供・活用

6次産業化

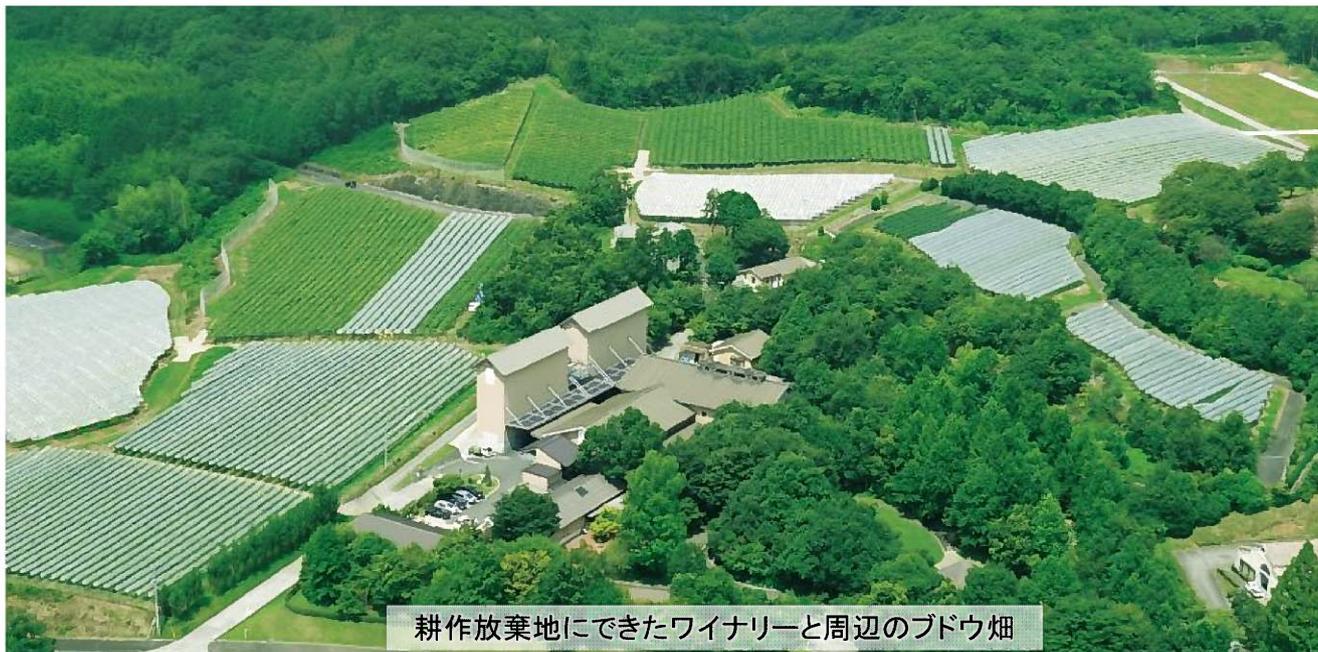
さんわしゅるい

三和酒類株式会社

あじむ

安心院葡萄酒工房

安心院ワインで乾杯～ワインが紡ぐ～



耕作放棄地にできたワイナリーと周辺のブドウ畑

取組概要

- H13年設立。安心院町に適したワイン用品種の選定を契約農家や関連会社と進め、高品質ワインを生産。
- 品質向上に伴いワインの需要が増加。ワイン用ブドウの確保のため、関連会社が耕作放棄地等の活用で農地を確保。生産量を大幅に拡大。
- ワインの認知度拡大や楽しみ方を伝えるため、ワインテイスティングセミナー、新酒祭等の各種イベントを開催。

活動成果

- 品質向上の取組みは日本ワインコンクールにて部門最高賞を過去7回取得するなど高評価を得ている。また各種イベントの開催により、認知度が向上し、H30年の売上見込みは5年前と比べ4割増。
- 関連会社はブドウ増産に伴い、これまで15haの耕作放棄地等をブドウ畑として活用。地域の活性化や経済波及効果に貢献。

三和酒類株式会社 安心院葡萄酒工房
大分県宇佐市安心院町下毛798

Tel : 0978-34-2210 Fax : 0978-34-2227

あしかり

農事組合法人 芦刈農産

甘藷で躍進する集落営農組織



法人役員と従業員の皆さん 後ろは直売所

ほ場担当活動風景(甘藷定植)

6次産業化部門作業風景

取組概要

- 集落営農組織をH17年に法人化。米・麦・大豆以外にH23年に高糖度甘藷「べにはるか」を導入。実需者から高評価を受け、作付面積を拡大。さらにH27年からスイートコーンの栽培にも取り組み、完全周年雇用体制を確立。耕作条件の改善として地下水水位制御システムを導入。
- H28年から焼き芋の加工と直売を始め、甘藷を利用した加工品の創作に取り組むとともに、加工場を新設。

活動成果

- 園芸品目の導入や、独自ブランド化、商品開発の努力により、集落営農法人で県内一の農産物売上高(平成29年度)で約5,000万円を達成。
- 年間を通じた栽培品目を選定することで7名の常時雇用を実現するなど、地域雇用の創出に貢献。
- 法人役員への女性の登用、女性組織による商品開発など、女性が活躍する場を設け、25名の女性を雇用。

農事組合法人 芦刈農産

大分県豊後大野市三重町芦刈283-2

Tel : 0974-22-6016 Fax : 0974-22-6306

宮崎県 日南市

「食」の提供・活用

女性・高齢者

さかたに

酒谷むらおこし株式会社（道の駅酒谷）

さかたに

小さな村の大きな挑戦！酒谷の宝ここにあり



酒谷の宝 日本棚田百選「坂元棚田」



茅葺屋根と自在カギが目印



売上2千万円以上の草だんご

取組概要

- H9年、直売所がオープン。H11年より道の駅登録。同施設の管理運営協議会が母体となって当社を設立。全株主27名は地区住民。
- 道の駅で販売する人気商品「草だんご」の原料のよもぎは全て地元産、食堂で提供する米も「坂元棚田」産を用いるなど可能な限り地元産にこだわり販売。
- 「雇用は地元から」との方針で、駅長を含め道の駅スタッフ全員が女性で、その殆どが地元雇用。

活動成果

- 人口約1,000人、高齢化率50%を超える中山間地の道の駅に毎年約20万人が訪れ、売上も1.6億円程度で安定し、地区に活気が戻った。
- 地元雇用は、所得の向上はもとより、地元愛が強い住民が働くことで道の駅や地区の活性化につながった。
- 女性主体の職場は、気配りとおもてなしで和やかな雰囲気。高齢者が生涯現役で地域活動にも大きく貢献。

酒谷むらおこし株式会社（道の駅酒谷）

宮崎県日南市大字酒谷甲1840番地4

Tel : 0987-26-1051 Fax : 0987-26-1053

鹿児島県 屋久島町

自然・景観・伝統

移住・定住

6次産業化

やくしまあつとまーくみやまえん
屋久島 @ 深山園

自然との共生の農業

屋久島醗酵茶セレクション



紅茶から微醗酵緑茶まで醗酵度により味が違う



粉末緑茶には残留農薬ゼロの基準が求められる



東京より農業ボランティア

取組概要

- 化学物質過敏症の方達が飲めるお茶づくりを目指し、山の中の荒地を開墾し、飛散農薬のない茶畑を作り、有機JAS認定の資格を取得。
- 豊富な屋久島の草で堆肥を生産。畝の間に草を敷きこむ茶草場農法で雑草を押さえ、土作りに取り組む。
- ウンカに傷つけられた茶葉が醗酵する自然の摂理を活かし、紅茶・半醗酵茶・微醗酵緑茶を生産。

活動成果

- 「10年ぶりに緑茶が飲めた」と化学物質過敏症の方から喜ばれ、自然栽培茶の売上は自然災害等で生産量が左右されるが、着実に伸びている。
- 無農薬無化学肥料の自然栽培のお茶作りを確立しつつあり、島内で有機JASを取得される者が増加。
- 近年、本土から青年や農業移住希望の夫婦を受入れ。当社に就職・移住を希望される者も増えつつある。

屋久島@深山園

鹿児島県熊毛郡屋久島町中間695

Tel : 0997-48-2915

Fax : 0997-48-2915

鹿児島県 和泊町

自然・景観・伝統

「食」の提供・活用

6次産業化

おきえらぶ
沖永良部きのこ株式会社

小さな離島でも6次産業化の芽吹きを！



身が分厚くて評価の高い生キクラゲと加工品



自生菌を大切に培養



生産量は1.5倍以上に増加

取組概要

- さとうきびの搾りかす(バガス)を菌床としたキクラゲ生産の再建を図るため、H20年に当社を設立。
- 中国産の乾燥キクラゲとの差別化を図るため、「沖永良部島の一部にしかない自生菌を使った生キクラゲ」を生産。消費者が安心して購入できるよう県が定めた農産物認証制度K-GAPをキクラゲでは、第1号として5年前に取得し、重金属や細菌検査を実施。大学と連携し、ミネラル成分や機能性の優位性も証明。

活動成果

- 島固有のキクラゲ自生菌を現地・栽培ハウスから採取組織分離培養。商品の付加価値を高める取組やさとうきび生産と連携した循環型生産の取組がTVや新聞等の各種メディアにも取り上げられ、島の特産品の1つとして認識されている。
- 現在、大手スーパー、百貨店にも卸し、全国的な認知度も高まり、直近5ヶ年で生キクラゲの出荷量は1.5倍以上、売上は2倍以上の7000万円程度に増加。

沖永良部きのこ株式会社

鹿児島県大島郡和泊町皆川865 Tel:0997-92-3165 Fax:0997-92-1196